

會 告

日本鐵鋼協會第十七回講演大會 講演者募集

来る昭和九年四月初旬本會第十九回通常總會を兼ね第十七回(春季)講演大會を催しますから此好機會に御出演希望の方は下記要項御含みの上奮つて御申込下さい。

尙ほプログラムの詳細は決定次第追て掲載致します。

昭和十一年十月

日本鐵鋼協會

要 項

- 1 講演會場は 1 箇所とす。
- 2 講演申込期日は昭和十二年一月三十一日限とし締切は勵行致します、同期日迄に演題と其の講演大要(約 500 字以内)を必ず本會宛御送附下さい。本會では其大要集を編纂し出席申込者へ出來得る限り早く配布します。
- 3 一月三十一日迄に論文の全文を御送り下されば其前刷を作り出席者に配附致します、此場合と雖も講演大要は是非とも御送附を願ひます、全論文御送附の際は成る可く歐文抄録を御添付下さい。
- 4 講演に要する時間(幻燈使用の場合には其時間を含む)を御申込と同時に御記入下さい。
- 5 講演申込多數の場合には講演を行はずして論文を會誌に掲載するに止むることあるべきに付御諒承下さい。

日本鐵鋼協會既刊物及頒布品一般分讓廣告

- (1) 鑄物號 (鐵と鋼第十五年第十二號) 一部金五拾錢(郵稅共)
- (2) 日本鐵鋼協會第六回研究部會第二回製鋼部會記事
(鐵と鋼第十九回臨時增刊) 一部金七拾五錢(送料共)
主題(內容)「製鋼平爐燥業上之に附屬する蓄熱室は如何なる程度に熔損せる後之を修理するを以て經濟上最も利益なりとするや其熔損程度の決定」
- (3) 製鐵業參考資料 (商工省鑛山局編昭和八年六月調) 一部金參拾五錢(要送料四錢)
- (4) 日本標準規格 JES (明細目次は鐵と鋼に掲載あり又申込次第送) 壹枚金壹錢(要送料)
現在品 JES 第 1~7. 第 15~26. 第 36~56. 第 77~87. 第 108~111. 第 137~142. 第 165~166. 第 170~172
第 223~233 (市内金六錢市外金拾錢を要します。)
- (5) 日本鐵鋼標準試料 (八幡製鐵所製) 150 互入壹瓶
(明細カタログは鐵と鋼に掲載あり又申込次第送)
- (6) 學振 19 小委第 1 號 - 鐵及び鋼窒素分析方法 五枚一部 金五錢